

事業名：江別市都市提携委員会補助金

秘書課 秘書係

政策	06 市民協働によるまちづくり								
施策	03 国内・国際交流の推進								
基本事業	03 異文化交流の推進								
開始年度	昭和52年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市都市提携委員会

手段（事務事業の内容、やり方）

姉妹・友好都市交流を行う都市提携委員会に補助を行う。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市都市提携委員会に補助を行うことで、当委員会が以下の成果をあげることができる。①異文化を理解し、広い視野をもった市民を増やす②市民ボランティアとして活躍出来る人を増やす③姉妹・友好都市との交流を通じて自分の国やまちの歴史や状況を客観的に理解し、郷土を愛する心を育むとともに、国際感覚を身につけ国際社会に貢献できることを目指す。

指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	江別市都市提携委員会委員数	人	50	50	44	44
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	400	400	400	550
活動指標2						
成果指標1	姉妹都市・友好都市派遣人数	人	3	3	3	3
成果指標2	姉妹都市・友好都市受入人数	人	3	2	3	3
事業費(A)		千円	400	400	400	550
正職員人件費(B)		千円	401	401	391	391
総事業費(A+B)		千円	801	801	791	941

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	以下の事業を実施する江別市都市提携委員会に対し補助金を支出する。 ・高校生のグレンヤム市相互派遣 ・国際交流イベントへの協力 ・姉妹都市、友好都市に関する姉妹PR ・姉妹都市、友好都市訪問団への助成 ・友好都市訪問団との交流	江別市都市提携委員会への補助金：400千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
事業を取り巻く環境変化	
姉妹都市や友好都市との交流の懸け橋として、市内各種団体に構成する都市提携委員会に求められる役割は重要となっている。また、例年、グレンシャム市派遣を希望する生徒が多く市民の国際理解への関心が高いことが伺える。	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠
姉妹・友好都市交流は、公共的要素が強く含まれているが、交流事業には柔軟でスピーディな対応が求められることから、姉妹・友好都市交流を担う当団体への補助は妥当と考える。	
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠
異文化交流の推進に貢献がある。	
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠
受入・派遣した高校生はともに、異文化を体験したことで成長し、生徒本人だけではなく、学校など周囲にもよい影響を与えている。	
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠
姉妹・友好都市への訪問で得たことを、できるだけ多くの人たちで共有することによって、成果の向上が期待できる。	
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する方法はありませんか？	
ある なし	理由 根拠
昨今、原油高による派遣時における航空運賃等の高騰もあり、これ以上の削減は難しい。	